

秘封倶楽部が
ひとつになつた日

TOHO PROJECT
FANBOOK

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



3



メリーと
キスをするように
なったのは—





秘封倶楽部の
活動が終わると
その場で私たちは
キスをする

それがここ最近の
暗黙のルールに
なりつつあった



—でも





野外のせいで
うまくキスに
集中できず



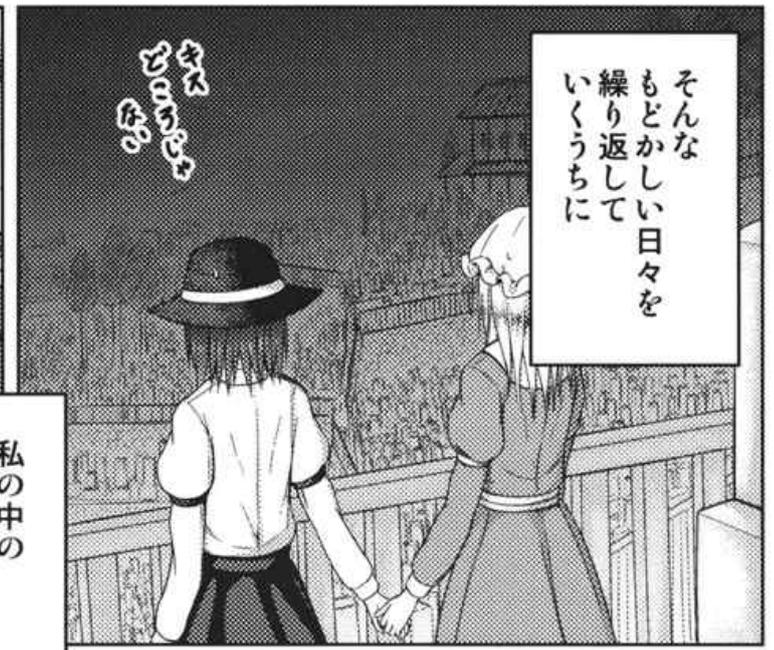
いつも
中途半端に
終わってしまう

あはは...



人目が
あつ

私の中の
欲求不満はどんどん
溜まっていき――



そんな
もどかしい日々を
繰り返して
いくうちに

きん
ごう
ごう



隔壁
浴衣中

次第に
メリーとの
キスの事ばかり
考えるように
なっていた



キマイラに
追いかける



かといって
私の部屋は

そんな
ことする
雰囲気じゃ
ないし……

ゴチャッあ



このままじゃ
マズイ……

やっぱり
場所を変えるしか――

ムラ
ムラ



そもそも
メリーって
野外でしか
キスしたがる
ような……

開放感
的 な
ヤッ?



メリーのいる
研究室

やっぱり
当人に
相談するのが
一番かな……
ハズレシイけど……



失礼
しまーす

メリー……いや、
ハーンさんは
今どこに……

あ、ハイ
同じサークルの
……

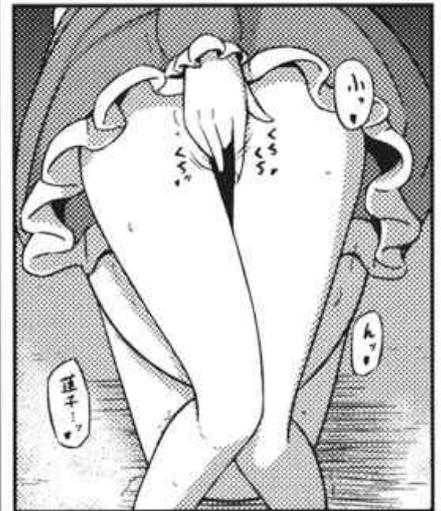
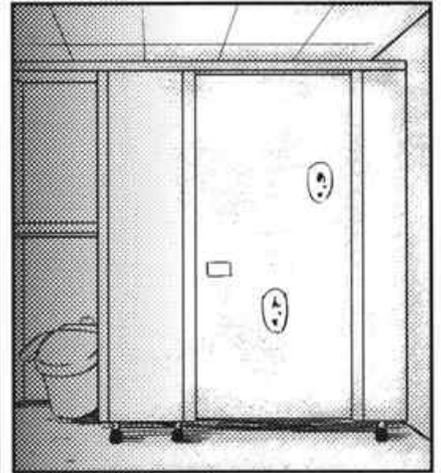
そうですか？
じゃあ
少したけ……

ふんふん……

いえ、
おかまい
なく……

――え？

ガラッ
……あれ？







……え？



本当に安全かしら？

私の家……



蓮子はゆつくりキスできればいいと思ってるかもしれないけど……

私……外でもスイッチ入ると見境ないじゃない？

確かに一人で暮らしてるけど……

誰もいないということは

何をされても助けを呼べないのよ？



——どうしよう

知らないわよ？

歯止めが効かなくなっても……



だッ……
大丈夫よ
きつと!



今までも
私がメリーを
拒んだこと
なんて一度も
無かった
じゃない!

私——
思っていた
以上に

それに万が一
嫌だと思ったら
ちゃんと言うし!



メリーの
ことを……

でも……

あああ
もうッ!!



メリーの期待には
全部応えたいと
思ってるし!!

それに
何より——

メリーの家で
いったい
どんなこと
されるのか

私が期待
しちゃってる
のッ!!

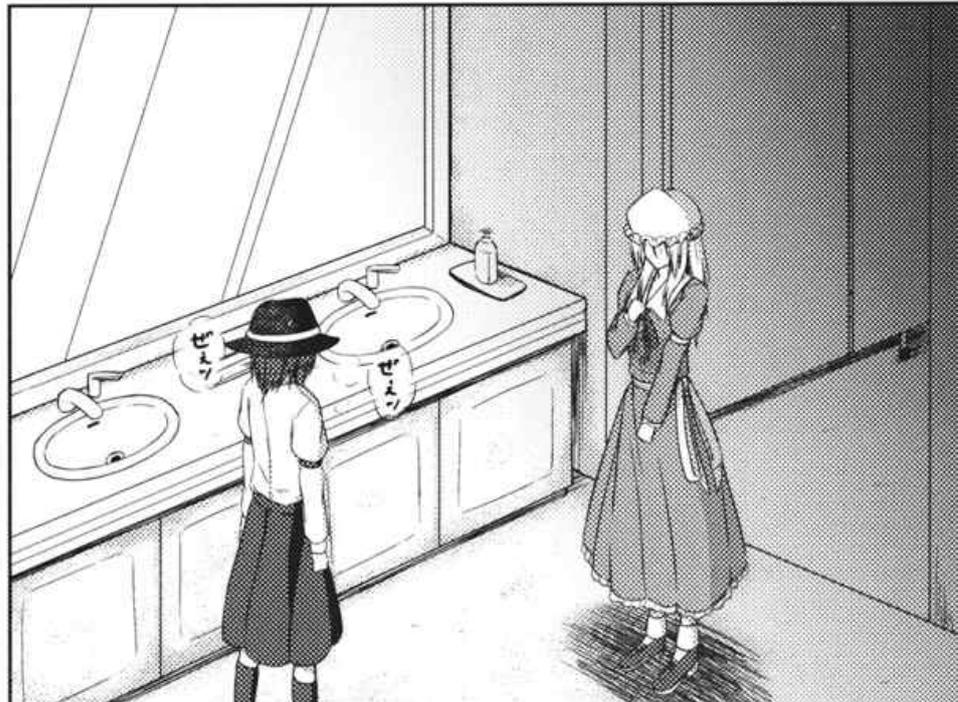
もう
どうにでも
なれ——!!

私は!!



……
じゃあ
今から
来る?

私の家……



メリーの家までの
道のりは全然頭
入ってこなかった

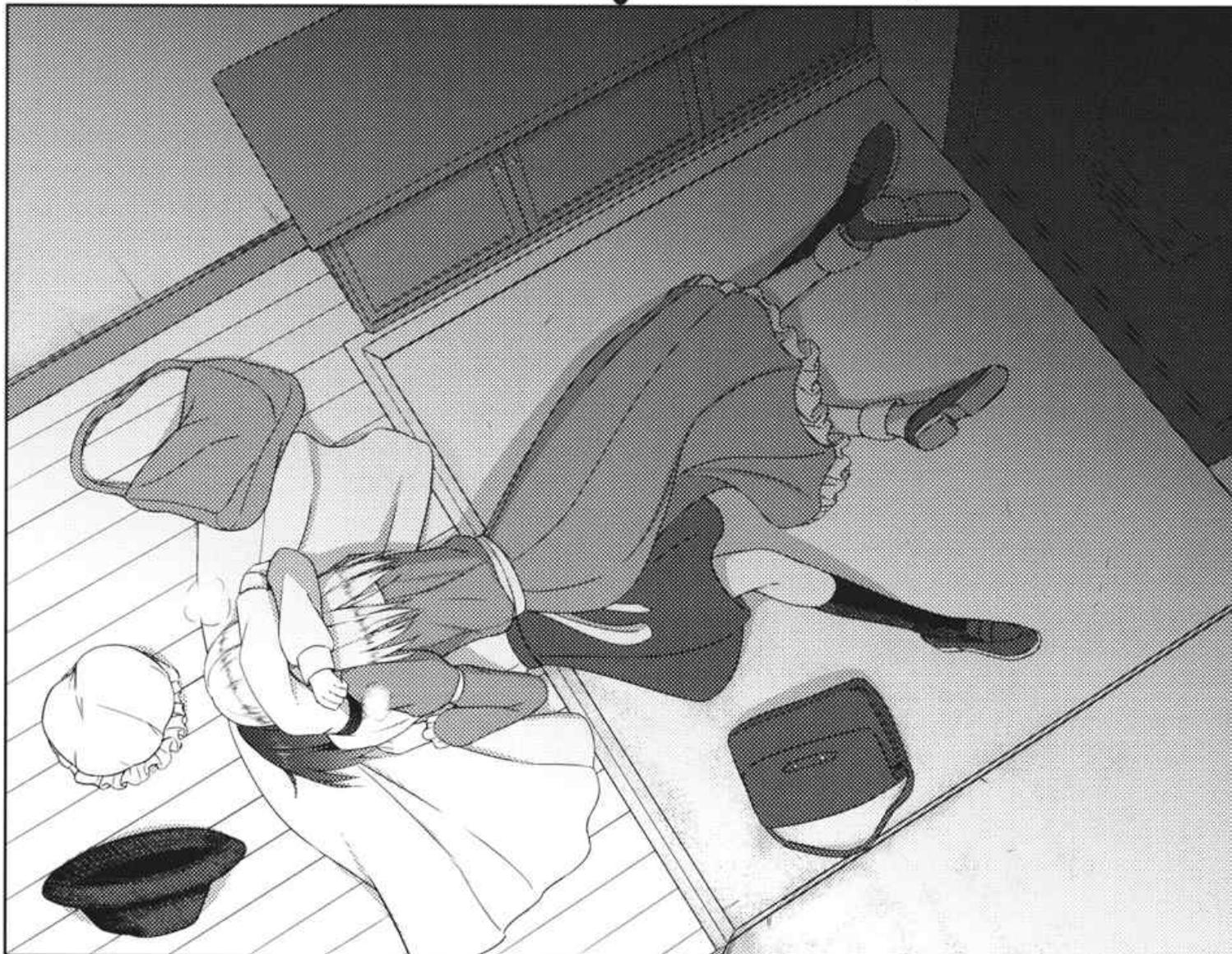
道中の会話は
ほとんど無く――

お互い早足に
なりながら――

高ぶる気持ちを
必死で抑えていた

こんな状態で
メリーの家に
着いたら……

私たちは一体
どうなって
しまうのか――

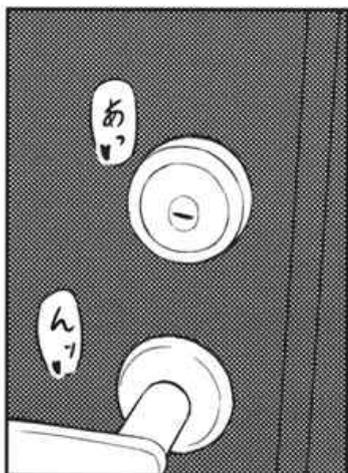








そこから先は
よく覚えていない



あゝ

んっ



でも
歯止めが効かなく
なったメリーに
抱かれていた
私は

他のどの場所で
キスした時より
安心していた――



…あゝ

ほっ



ぬち

だめッ

ひっ

あゝ

はひっ



ああんッ

め、メリー

ちよつと休――

んんう

んんう

んんう

んんう



はっ

はあッ

んっ

あゝ

んんう

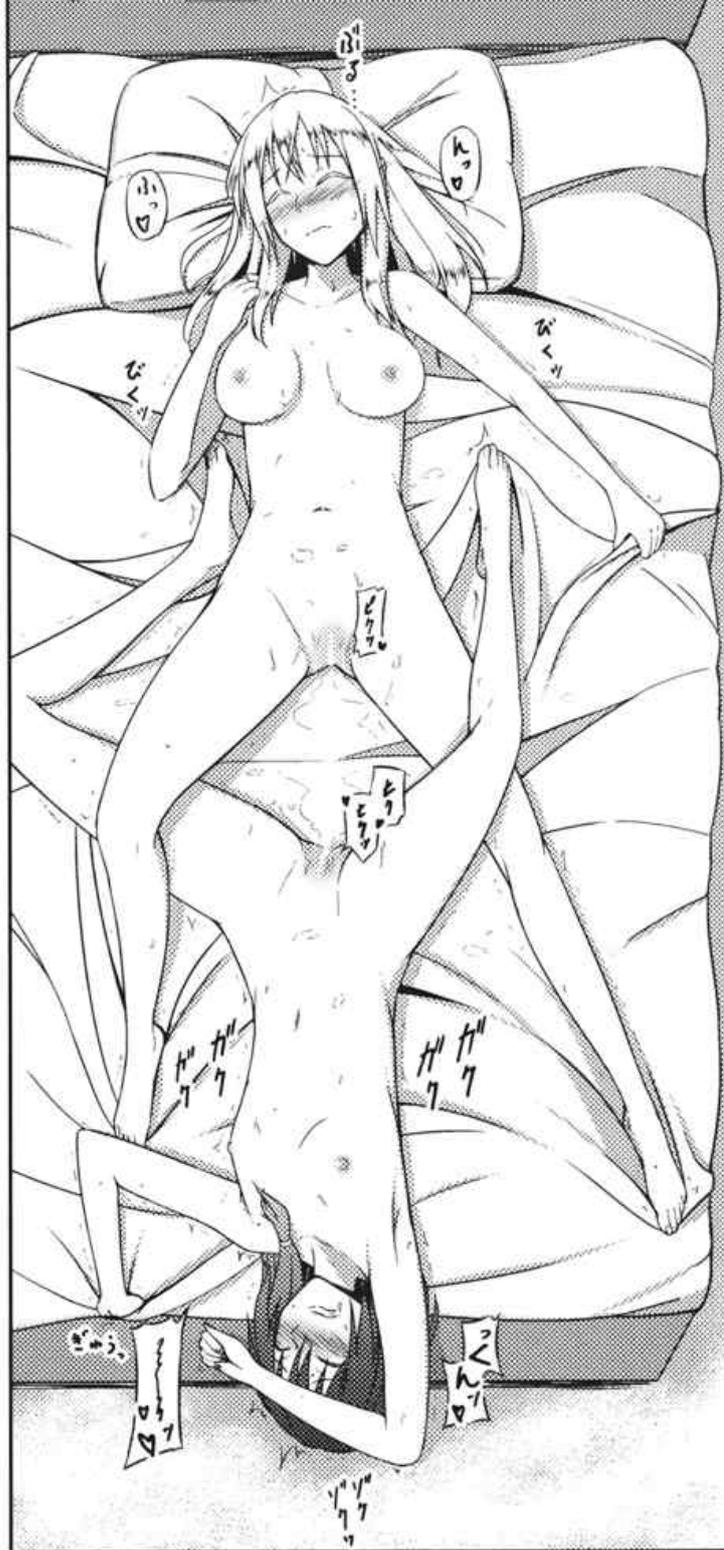
んんう

んんう

んんう

んんう

んんう







私の
においが
好きなの？



メリーの
おっけい……



そんなに……



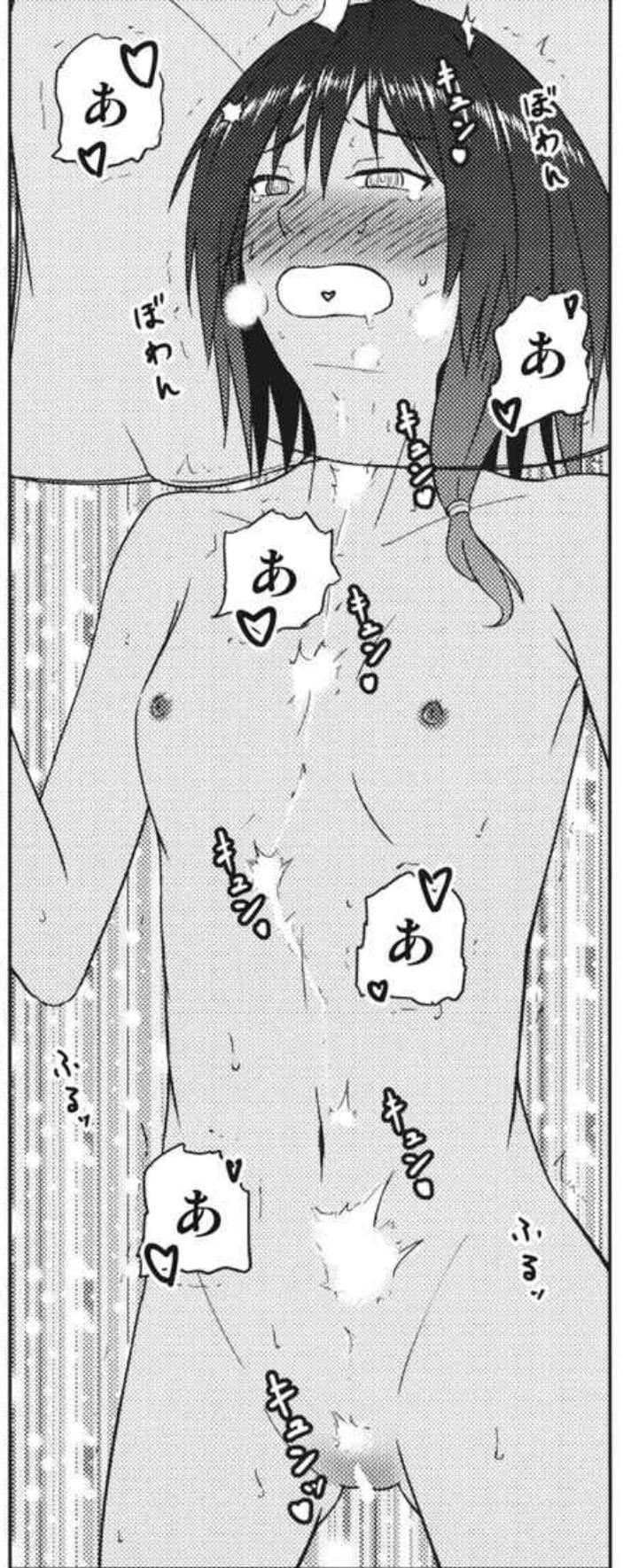
んッ!?

ほいっ



うああ……

あ……



カ チョ



んばあ
!?!



これ...
ヤバイツ!!



やめッ...!!

蓮子...

息がッ



こんな反則

呼吸を乱される度に

メリーのにおいの中に



何も



もう



ビッ

考えられ



んッ

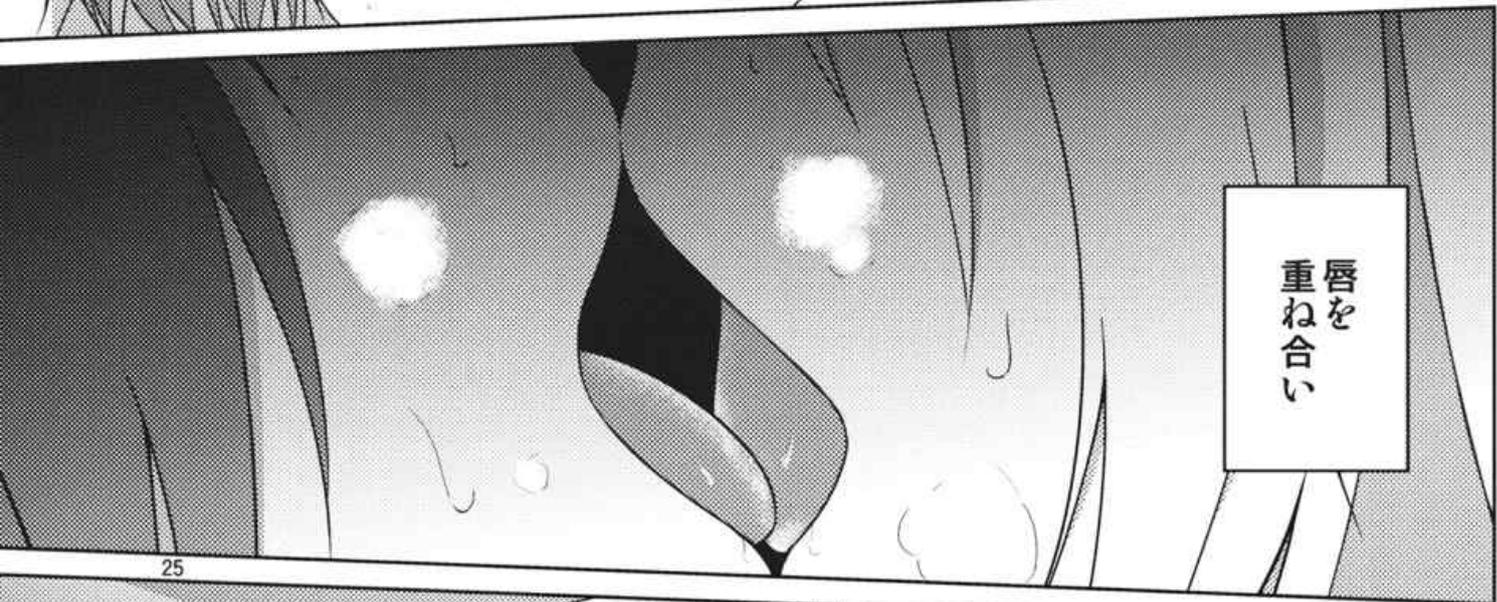




私達はお互い
気を失うまで



肌を
重ね合い



唇を
重ね合い



気持ち
を重ね合
った――

かぼーん

とんでもないことをしてしまったような……

—何だか

—はあ

……私
メリーの期待に
応えられた
かな……

えっ、
うん……

蓮子こそ
大丈夫？

多分……

まわらないで

おなかとか
血が……

—ねえ、
蓮子……

本当に
嫌じゃなかった？

私に気を遣って
無理に付き合っ
たりとか……

もし
迷惑だったら
今後は
抑えるから——

だから
お願い……
蓮子とは
今まで通り——

—あなたねえ……



そりやまあ
想像してたより
凄いこと
され続けて
驚いたけど……

その……
ちゃんと
気持ち
良かったし

キヤッ



私が
一回でも
本気で
嫌がった？

あれだけ散々
えつちなこと
しておいて
よくそんなことが
言えるわね

アッ

アッ

アッ

いたっ!



私は
どんなメリーでも
受け入れられる
自信があるし……

それに
メリーは
どんな性格を
していようと
メリーよ

そんな私に
遠慮するだけ
損だと
思わない？

蓮子……



——うん!



私達は
二人で一つの
秘封倶楽部!

これからも
よろしくね、
メリー!

ほんと
来い!

あとがき

by フメイ

蓮メリちゅっちゅは正義(挨拶)。

初のえろ本です。しかもレズです。
描きたいシチュ多すぎて収まりきらなかったです。

えろ本なのでえろっぽくしなきゃと思いながら描いた結果
百合要素が犠牲になってしまいました。百合とは一体……

何はともあれ、使っていただければ幸いです。
使えたかどうか感想いただければ泣いて喜びます。

それでは、またどこかでお会いしましょう。

関係無いですがギャレゴジ面白

奥付

『秘封倶楽部がひとつになった日』

原作:上海アリス幻楽団様
初版発行日:2015年2月21日 境界から視えた外界-結-
発行者:フメイ(ムゲンダイ)
印刷所:ケーナイン様

【連絡先】

Mail:imi_humei@honey.ocn.ne.jp
pixiv:408239
twitter:imi_humei

※当作品は東方Projectの二次創作物です。
※当作品の無断での複製、加工、転載を禁じます。



ムゲンダイ

PRESENTS